

わたしたちのくらしと 地域経済を支えるインフラ

本格的な人口減少社会を迎えている今、「小さな投資」で「できるだけ大きな効果」を生み出し、社会全体の生産性向上や安全・安心の確保につながるインフラの整備・活用がこれまで以上に重要となっています。

本県では、ストック効果の高いインフラの整備・活用、国土強靱化に向けた防災・減災対策を重点的に推進し、『くらしの豊かさ日本一の宮崎』を実現します！

この事例集は、このような本県の取組を紹介します。



平成30年1月
宮崎県 県土整備部



目次

【高速道路】

- P 1 相次ぐ企業立地による地域経済の『好循環の拡大』
- P 2 全線開通を見据えて進む『観光客受入環境の整備』

【道路】

- P 3 輸送効率化による畜産業の『経営リスクの低減』
- P 4 時間距離の短縮による林業の『成長産業化の支援』
- P 5 小さな集落に大きな効果をもたらす『交流人口の増加』
- P 6 救命救急活動や経済活動を停滞させない『予防保全』

【港湾】

- P 7 港と道路整備の相乗効果による基幹産業の『競争力強化』
- P 8 訪日クルーズ旅客の増加による『観光需要の創出』
- P 9 官民連携で加速する『人流拡大・物流効率化』

【河川】

- P10 歴史的景観に配慮し伝建地区の『にぎわいの創出』
- P11 地域資源の掘り起こしによる『魅力ある水辺の創出』
- P12 旧河道の復元による『人と川のつながりの再生』

【砂防】

- P13 巨石や流木を捕捉し河道埋塞による『被害拡大の防止』
- P14 土砂災害危険度情報の一般公開による『防災意識の向上』

【都市整備】

- P15 県有施設のリニューアルで動きだした『民間施設の再開発』
- P16 環状道路の整備による『暮らしやすさの向上』
- P17 切迫する南海トラフ地震に対する『地域防災力の強化』

【その他】

- P18 クルーズ船で賑わう油津港で『ストック効果の体験』

相次ぐ企業立地による地域経済の『好循環の拡大』

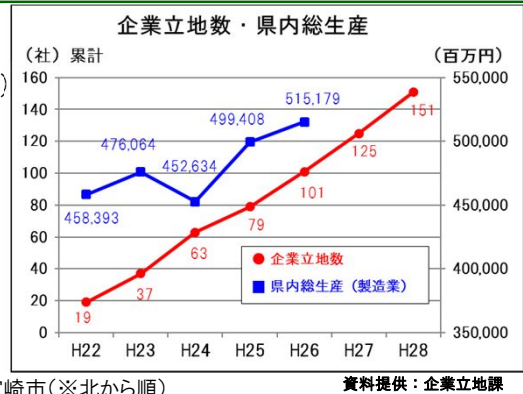
東九州道

沿線市町に進出する企業が増加！

■ 部分開通がはじまったH22年度からの7年間で、沿線市町(4市7町※)に多数の企業が立地(H29.3末現在)

県内総生産(製造業) プラス成長！
企業立地数 151社が立地！
東九州道県内供用率
(H22) 34% → (H28) 68%

※ 沿線市町(4市7町)
 延岡市、門川町、日向市、都農町、川南町、木城町、高鍋町、新富町、西都市、国富町、宮崎市(※北から順)



東九州自動車道の開通と相まって 宮崎県3年連続 (H26~H28年度) で過去最大の企業立地数！

中国木材(株)日向工場：H26本格稼働



- ・国内最大の国産材製材工場
- ・平成32年度迄に**工場増設**
- 年間受入43万m³ → 70万m³



H28.4 北九州市～宮崎市が繋がる
 H27.3 大分市～宮崎市が繋がる

宮崎日機装(株)：H30稼働予定



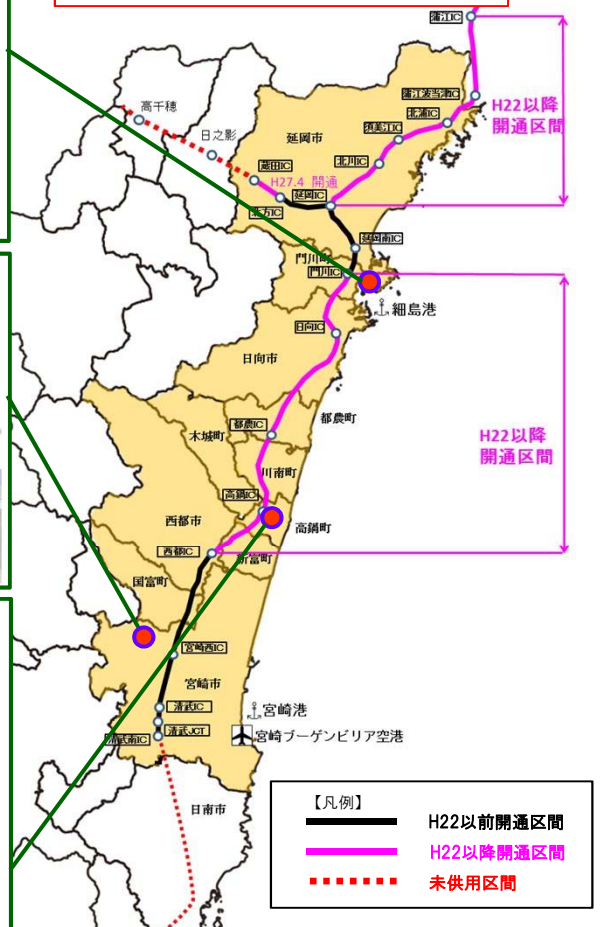
- ・国内最大級の航空機部品工場
- ・県内から約400人雇用予定
- ・産業用特殊ポンプ製造へ事業拡大



宮崎キヤノン(株)：H31稼働予定



- ・敷地面積27万m²
- ・約1,500人規模の新工場
- ・一眼レフ、ミラーレスデジカメの量産拠点
- ・大規模工場進出による地域のにぎわいに期待



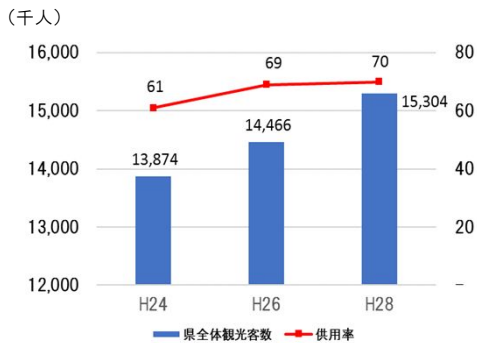
高速道路網整備による効果で多くの企業が立地、製造業プラス成長

今後、ミッシングリンク解消による更なる経済成長に期待！！

全線開通を見据えて進む『観光客受入環境の整備』

東九州道・九州中央道

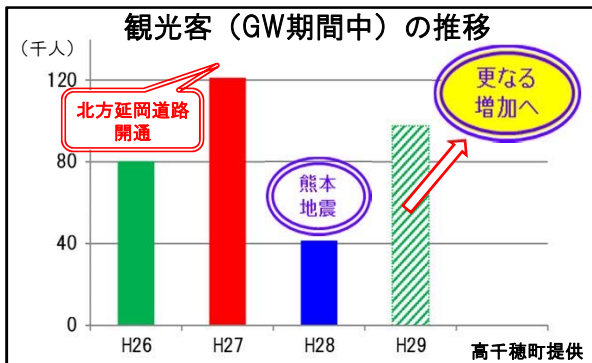
県内観光客数・高速道路供用率



観光客受入環境の整備・取組事例

【高千穂町】～観光振興の更なる充実化！～

- ・高速道路一部開通により**過去最多観光客数！**
- ・高速道路開通を見据え**宿泊・休憩施設を建設！**



～宿泊・休憩施設等の整備～

◎観光ホテル建設中

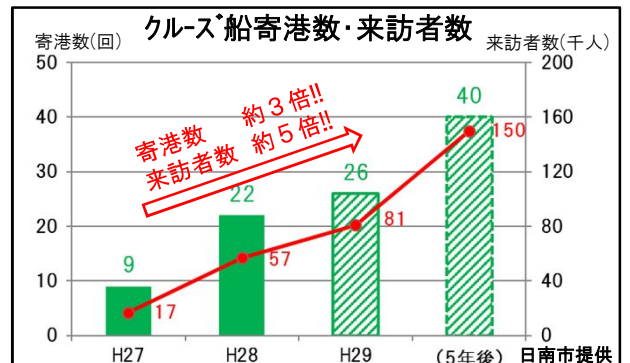
◎休憩施設



高千穂町提供

【日南市】～インバウンド観光拠点づくり！～

- ・大型クルーズ船による**インバウンド観光を推進！**
- ・油津市街地中心部に**交流拠点施設を整備！**



～外国人観光客受入体制の強化～

◎交流拠点施設

◎無料シャトルバス運行



日南市提供

高速道路整備



観光客
受入環境整備

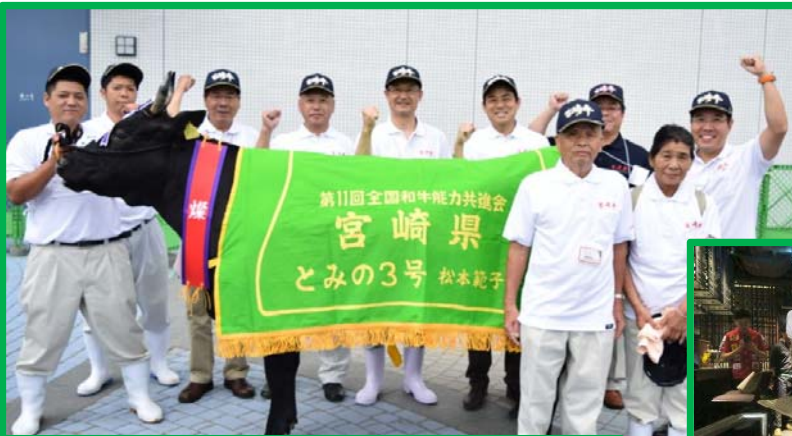


地域経済の活性化！！

輸送効率化による畜産業の『経営リスクの低減』

都城志布志道路

- 宮崎県の肉用牛の生産は質・量ともに、全国トップクラス！
- 海外への輸出増も見込まれる成長産業！
- 将来を担う若者も着実に育っている！



「全国和牛能力共進会」において、
「内閣総理大臣賞」を3大会連続で受賞！



台湾など海外への輸出も増加！

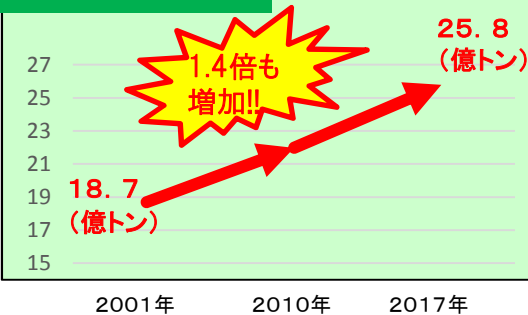


小林秀峰高校生と代表牛「れな」

畜産飼料における課題

○途上国の人口増、所得水準の向上により
世界の穀物消費量は増加の一途

世界の穀物消費量



課題

- ・飼料価格の抑制
- ・総量の確保

○国際バルク戦略港湾

大型船舶の利用等により諸外国との競争を高める。(穀物:全国で5箇所)
九州では、唯一、志布志港が選定。

志布志港

本県で消費される飼料の**約7割**を担う集積基地

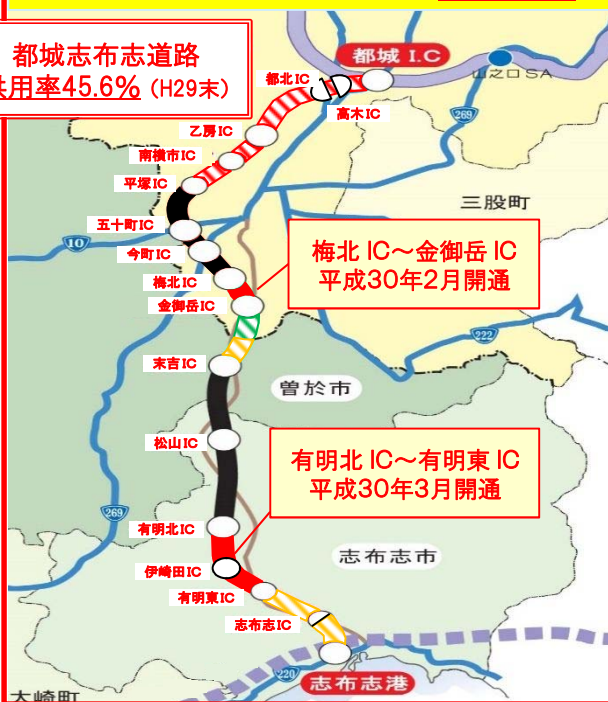


九州最大の穀物ターミナルが形成

短時間・大量輸送による輸送コストの低減

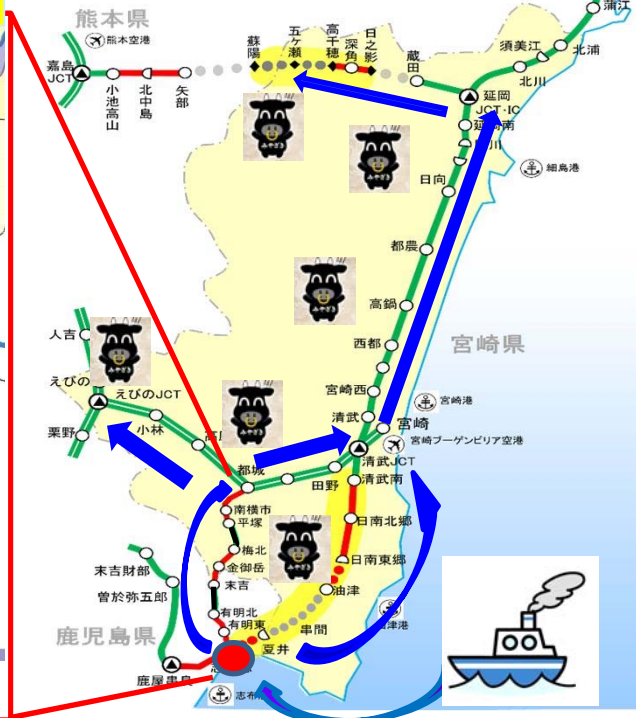
全線開通時の短縮効果 約30分!!

都城志布志道路
 供用率45.6% (H29末)



梅北 IC~金御岳 IC
 平成30年2月開通

有明北 IC~有明東 IC
 平成30年3月開通



時間距離の短縮による林業の『成長産業化の支援』

国道327号

より効率的な木材輸送を実現

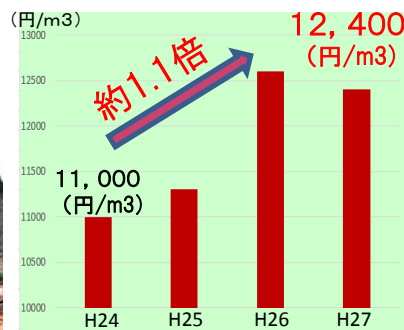


活性化する耳川流域の林業



宮崎県の杉素材(丸太)産出量は**26年連続日本一!!**

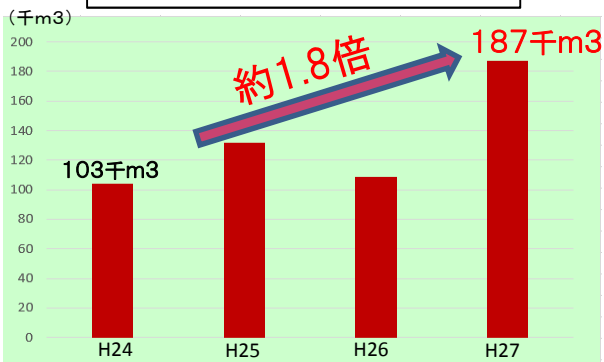
製材用素材価格(杉中丸太)



新規就業者(林業)



耳川流域の製材品出荷総数



道路の整備が進み、大型車同士の離合もスムーズになり、搬送時間が短縮されました(^^)



整備後の状況



森林組合の方

椎葉村、諸塚村など、**林業が盛んな地域の道路整備が進み、木材運送の効率化**が図られ、**経営環境の安定化**が実現されはじめています。

小さな集落に大きな効果をもたらす『交流人口の増加』



地域のニーズに早期に応えるため1.5車線の道路整備を実施

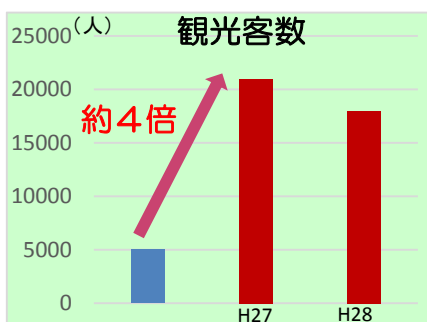


整備状況(部分的に拡幅)



観光客増加に伴うI・Uターン者の雇用の場の創出

小川作小屋のオープンにより
観光客は約4倍に増加。
人口約100人の集落に
年間2万人程度の観光客
 が訪れている。
観光消費は2千万円に及
 び**地域に新たな雇用**を生
 み出している。



救命救急活動や経済活動を停滞させない『予防保全』

国道218号

九州中央自動車道「蘇陽～高千穂間」(新規事業化準備中)
の完成までは相当期間を要する見込み

大規模災害時の
救命救急活動や復旧復興活動等を支える
重要な役割



『道路のり面緊急点検』の結果、
特に優先して実施すべき箇所の対策を実施中！！

熊本地震発生
H28.4.16



仮設防護柵設置



平成28年5月

片側交互による
通行を確保!!

対策工事完成
H29.11末



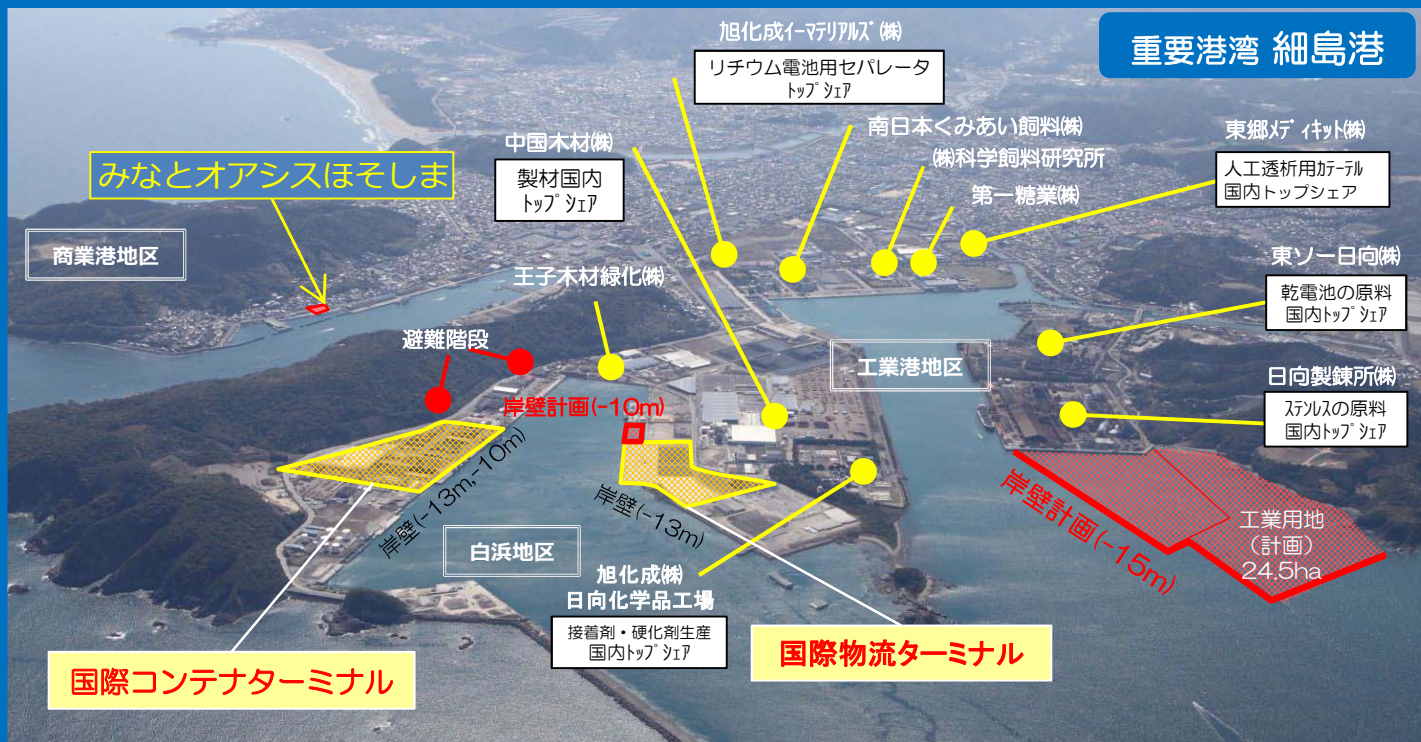
道路のり面緊急点検



平成28年5月

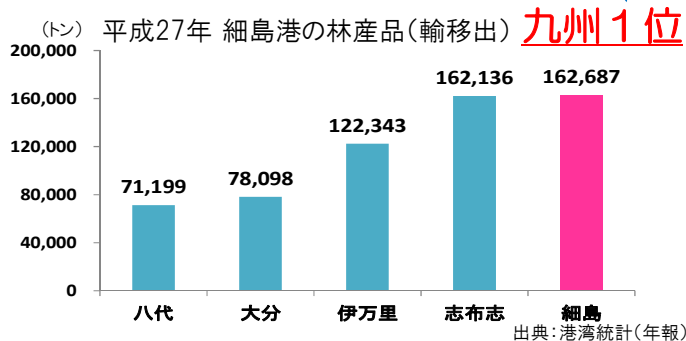
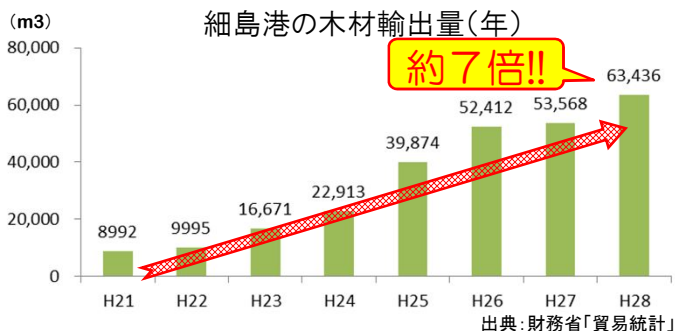
緊急点検を実施し、
早急に対策すべき範囲を確認!!

港と道路整備の相乗効果による基幹産業の『競争力強化』



木材消費量の拡大と雇用創出

平成29年第15回 経済財政諮問会議より
「地域の生産性向上に直結するインフラの重点整備」
全国12代表事例の1例として紹介



中国木材(株) (平成27年6月稼働)



国内製材最大手の工場が増設中 (2019年1月稼働予定)

2020年には、原木取扱量1.6倍(H28比) 新規雇用100人

みなとオアシス登録

新たな観光資源、港の魅力向上に期待

「みなとオアシスほそしま」の構成施設



「細島みなと祭り」をはじめとする住民参加による地域振興の取り組みが評価 (平成29年7月7日) 県内初登録!!

訪日クルーズ旅客の増加による『観光需要の創出』

重要港湾 油津港



クルーズ寄港拡大とその効果



H27着脱式防舷材・係船柱の設置
16万トン級クルーズ船が入港可能となる

- H28 クルーズ上陸人数 **51,126人(22回寄港)**
出典: 宮崎県港湾統計
- H27 経済波及効果 **約7千万円(1回寄港当たり)**
出典: 宮崎県観光推進課資料より試算 (油津港2回寄港の平均)



訪日観光客の積極的な受入

宮崎県南部広域観光協議会 (県南6市4町) において、
油津港から90分圏内の観光ルートを設定



世界最大22万トン級クルーズ船受入整備

現在の寄港可能な最大クルーズ船
16万トン級
(全長 348m 船幅 41.4m 乗客定員 4,180人)

—新たな整備—

- ・着脱式係船柱 1基
- ・着脱式防舷材 1基



今年度完成

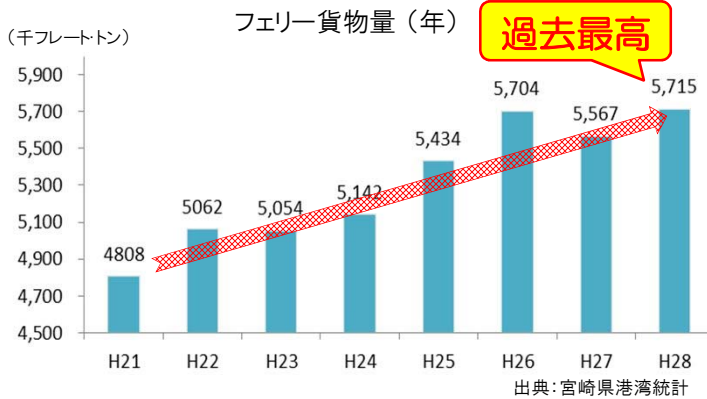
22万トン級までのクルーズ船が
寄港可能

(全長362m 船幅64m 乗客定員5,400人)

官民連携で加速する『人流拡大・物流効率化』



フェリーの利用状況



官民連携によるカーフェリーの大型化

2022年を目標にカーフェリー新造船を就航させる計画

現況カーフェリーの諸元

トラック	130台
乗用車	85名
旅客定員	690名

大型化へ

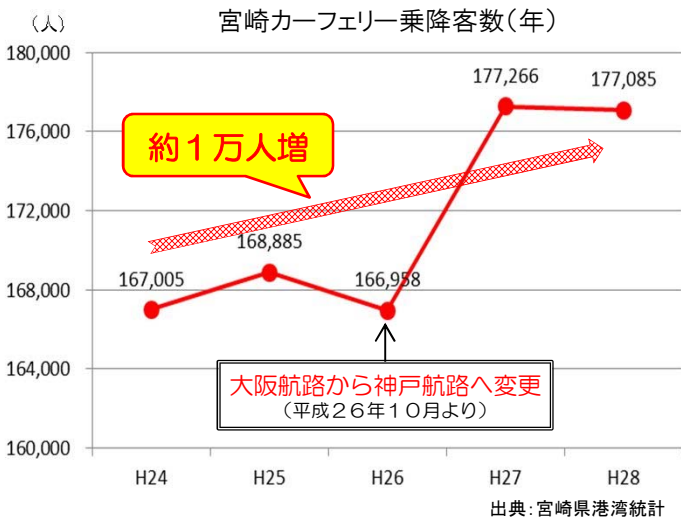
一本県農畜産物の関西以遠へ輸送に大きな役割を担っている

フェリー貨物の約7割が農畜産物(重量ベース)

本県産農畜産物の約1/4に相当

出典：総合交通課資料

- ▶ **トラック積載台数の増加**で、これまで乗せきれなかったトラックの受け入れが可能となり、**トラックドライバーの負担軽減**
- ▶ 都市圏に向け、県産品を更に**安価で大量輸送が可能**
- ▶ **個室増加**で、**多様化する旅行客のニーズに対応**

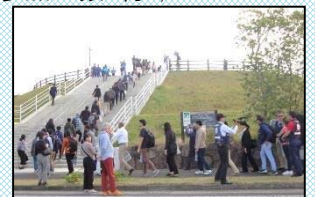


港の安全性向上

一大規模津波防災総合訓練(平成29年11月3日)ー宮崎港〔主催：国土交通省 宮崎県 宮崎市〕参加団体数：145団体 参加人数：約3,000人



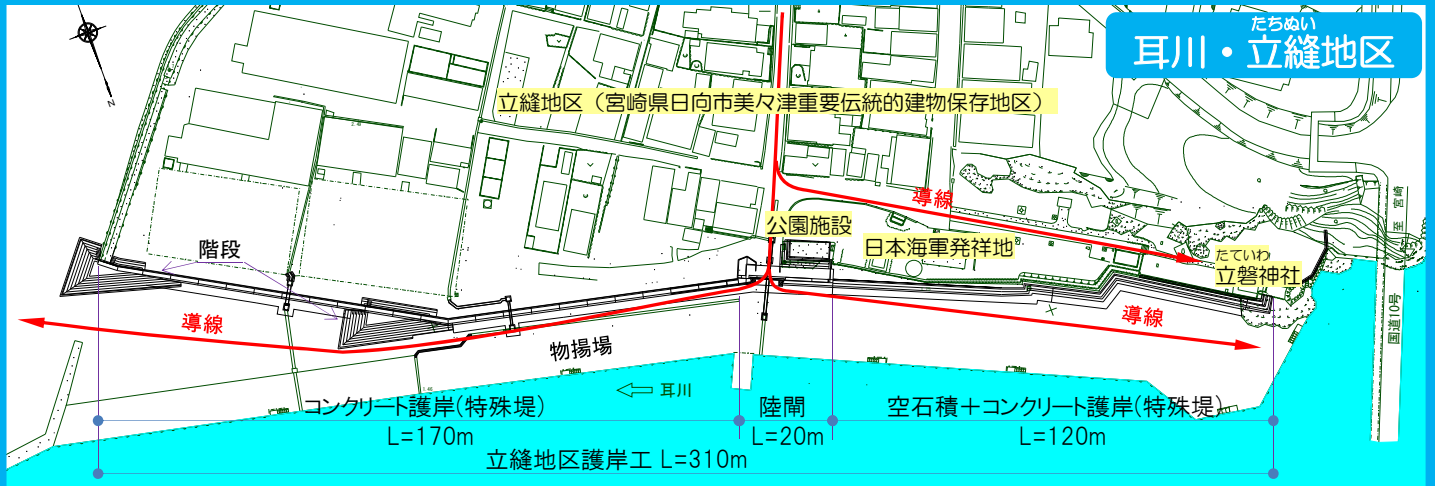
国の航空機や船舶による海上訓練(救難、啓開活動)



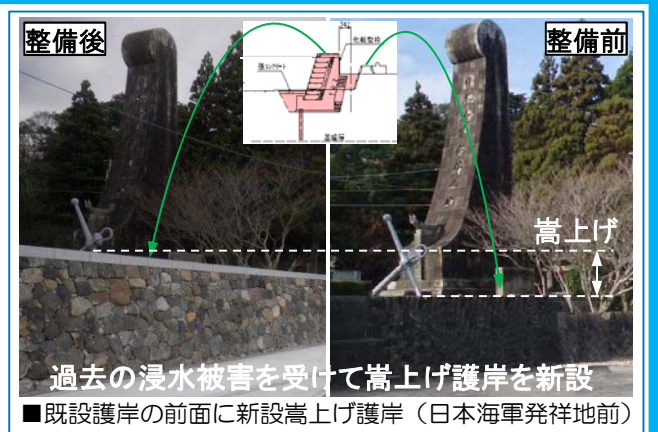
避難高台への避難訓練には外国人留学生約280人が参加

- ・避難高台完成後の分譲地 **新規契約 3件(約1.8万m²)**
- ・取扱貨物量の増加が期待される

歴史的景観に配慮し伝建地区の『にぎわいの創出』

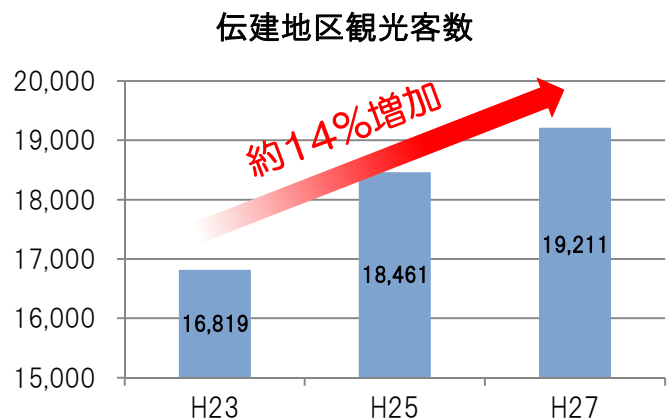


土地利用一体型水防災事業による護岸改修 (H19~H27)



歴史的景観や遺構への配慮と保持

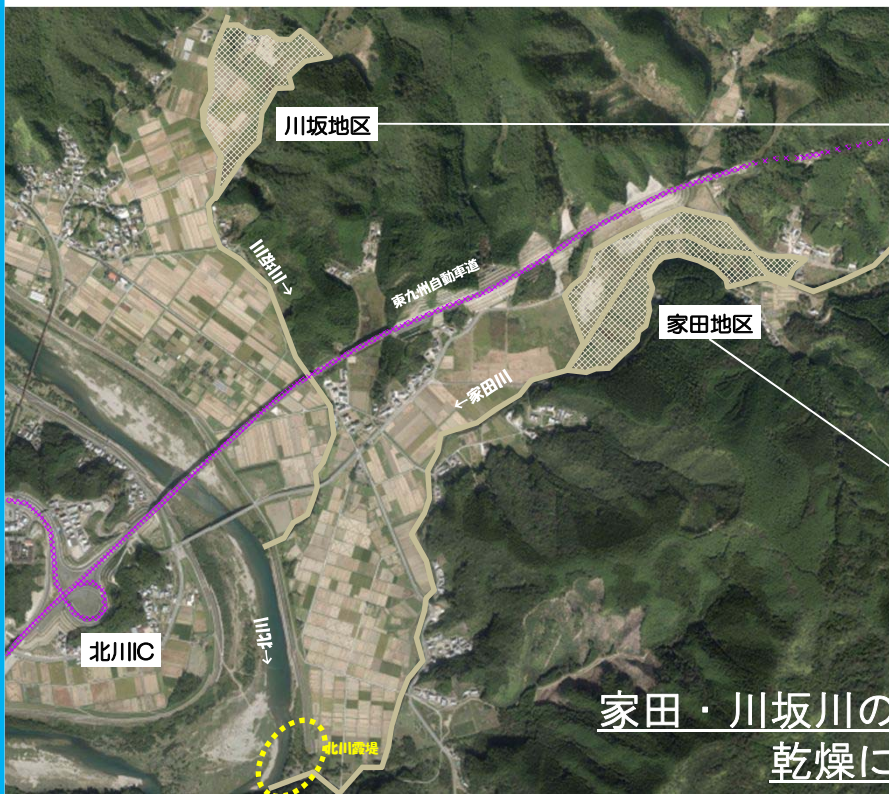
伝建地区との相乗効果による観光客数増加



地域資源の掘り起こしによる『魅力ある水辺の創出』

希少生物の宝庫「日本の重要湿地500」にも選定
家田・川坂湿原

えだ かわさか
家田川・川坂川



家田・川坂川の環境が湿地から乾燥へ移行
乾燥に適応した外来種群落の拡大

貴重種の“掘り起こし”

～湿原の植生回復に向けて～



湿原の“掘り起こし”

～冠水頻度を増やすために掘削による盤下げを実施～



湿原再生がもたらす未来への“たね”

～家田・川坂湿原を地域振興に活用～



それぞれの地域振興の“たね”が
芽吹き今後を後押し中！！

旧河道の復元による『人と川のつながりの再生』



再生

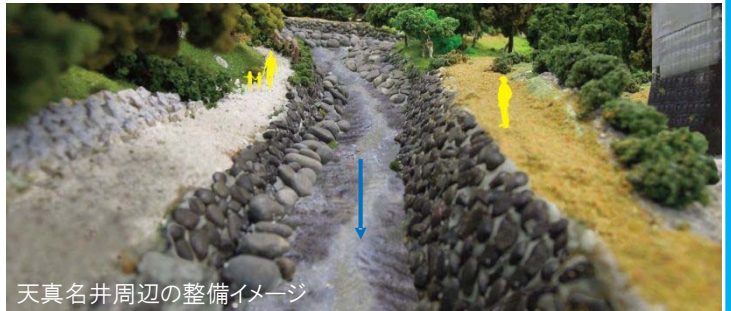
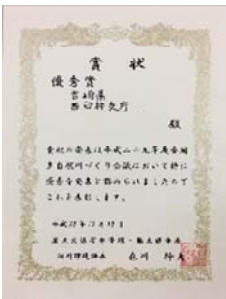


**現況河道を旧河道へ復元し、
親しみのある水辺空間を再生**

祝！全国多自然川づくり会議 優秀賞受賞

○全国多自然川づくり会議とは

川づくりに携わる職員の多自然川づくりに対する知見の蓄積や意識の向上を目的に国・都道府県・政令都市の職員を対象に毎年開催。



神代川の川づくりの取組が認められ、**H29年度優秀賞を受賞!!**



「直線的な河道」を「蛇行した河幅の広い河川」へ

巨石や流木を捕捉し河道埋塞による『被害拡大の防止』

砂防堰堤の整備により、近年の局地的、記録的豪雨に伴い発生する
土石流・流木災害から下流域を保全

砂防堰堤



一ツ瀬川砂防堰堤（椎葉村）

原則、流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤を整備！！

不透過型を採用した場合も、前庭工に流木捕捉機能をもった施設を設置！！



土砂・流木捕捉状況

～近隣住民の声～

昔は少量の雨でも心配でしたが、
砂防ダムが完成してからは**安心して暮らせる**ようになりました。

市山谷川砂防堰堤
(全景)

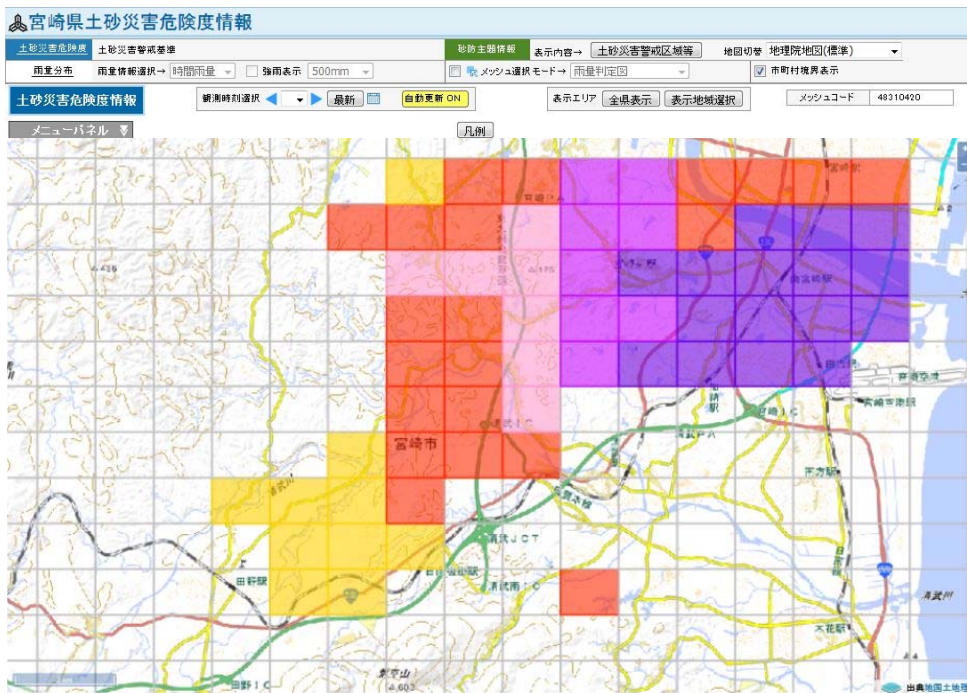


市山谷川砂防堰堤（椎葉村）

土砂災害危険度情報の一般公開による『防災意識の向上』

土砂災害発生の危険性が高まった地域を ピンポイントでお知らせ！！

情報発信



土砂災害危険度

危険度レベル	
危険度3	現在、基準値を超過している (土砂災害発生のおそれ)
危険度2	1時間以内に基準値超過を予想 (避難を完了する目安)
危険度1	2時間以内に基準値超過を予想 (避難を開始する目安)
警戒	実況または予想で警戒基準値を 超過 (避難準備を開始する目安)
注意	実況または予想で注意報基準値を 超過 (今後の雨量に注意)

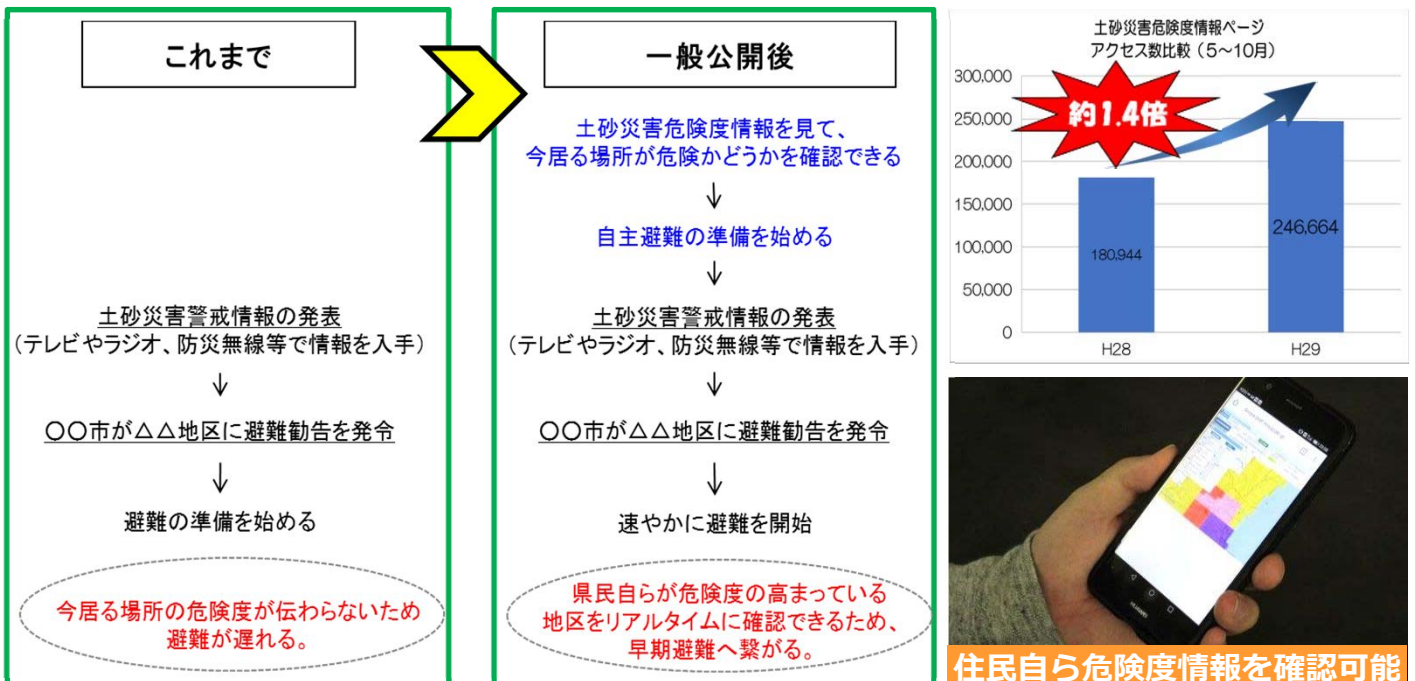


危険度情報に関する報道

↑ 宮崎県河川砂防情報システムによる土砂災害危険度情報画面

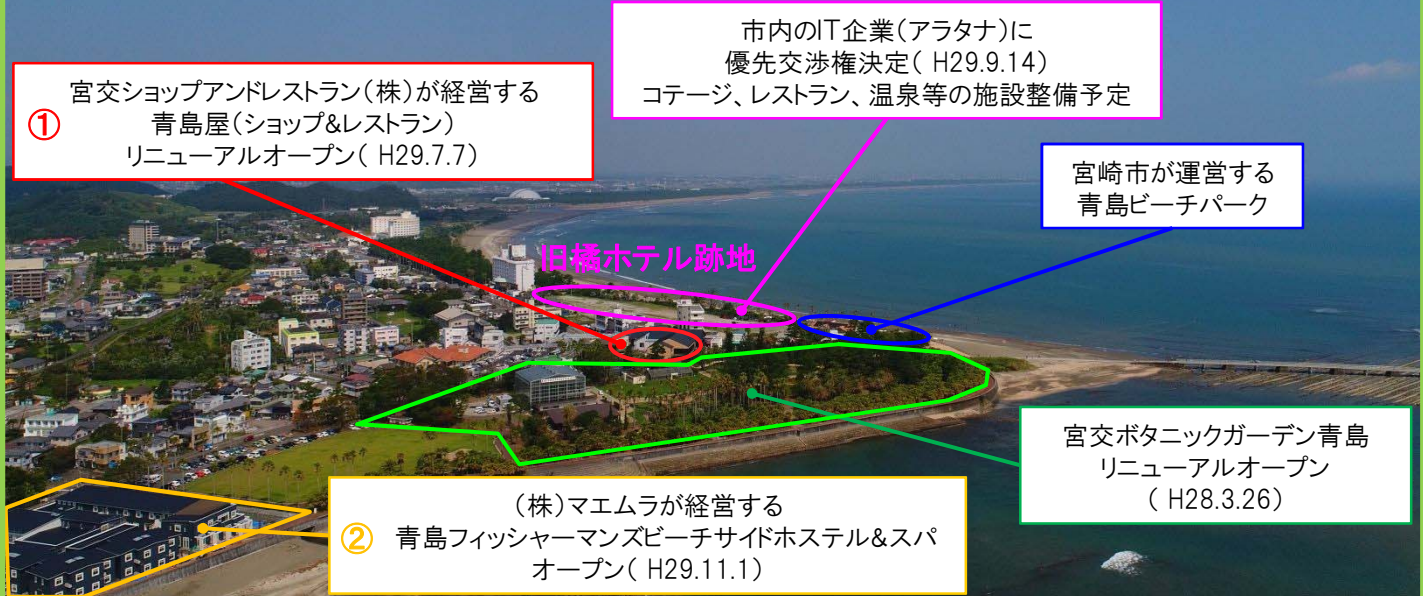
平成28年5月に、これまで行政の防災担当者等へ提供していた
「土砂災害危険度情報」をインターネット(パソコン・スマホ等)で一般公開開始。

平成29年9月には、該当ページへのアクセス数が約1.4倍へ増加するなど、土砂災害
に対する地域住民の意識の高揚を図り、早期避難を支援。



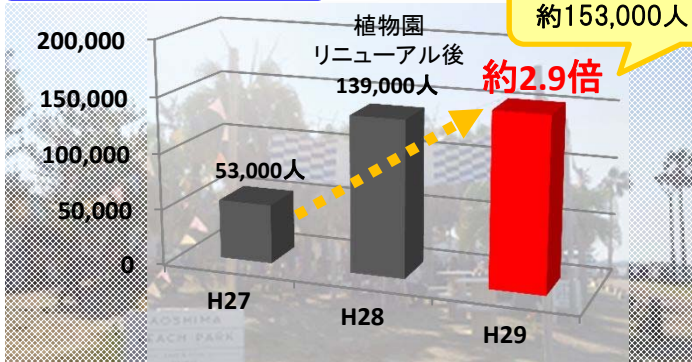
県有施設のリニューアルで動きだした『民間施設の再開発』

宮交ボタニックガーデン青島



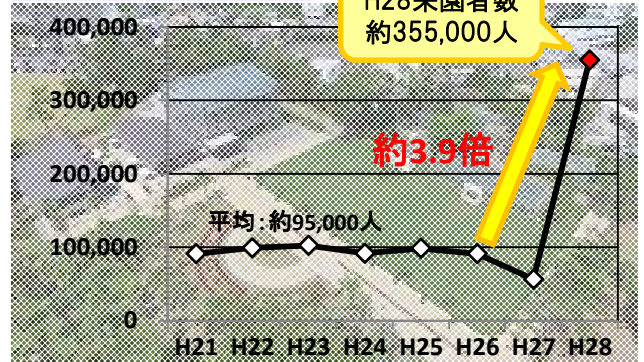
周辺施設と連携し**青島地域を活性化!!** 青島地域の観光地としての**魅力向上に寄与!!**

青島ビーチパーク利用者数



青島ビーチパークの利用者数も植物園のリニューアルとの相乗効果により、**約2.9倍に増加**。

植物園来園者数(外苑)



植物園のリニューアル後、来園者が**約3.9倍に増加**するとともに、周辺民間施設の再開発が動き出すなど青島地域の活性化に寄与。

夜間ライトアップで魅力を創出!!
(H29.7月22日~10月1日 58日間)

植物園で夜間ライトアップを実施し、期間中、**夜間のみで約1万人が来園**

※アンケートの結果、回答者の約半分は初めての来園
※回答者全員が、来年度もライトアップを見に行きたいと回答

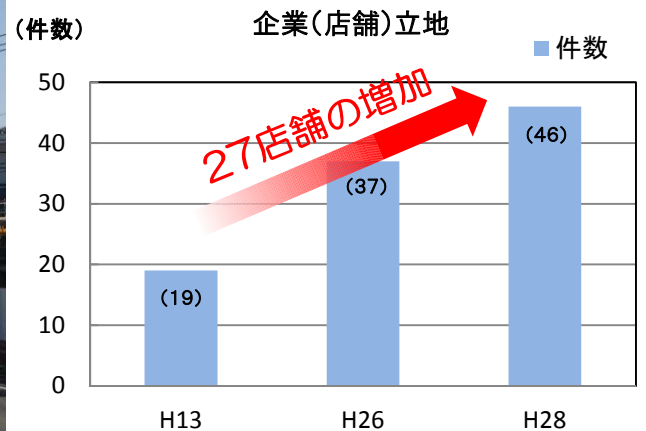


植物園のリニューアルを起爆剤とし、**民間施設の再開発**が進んでいる!!



環状道路の整備による『暮らしやすさの向上』

延岡西環状道路

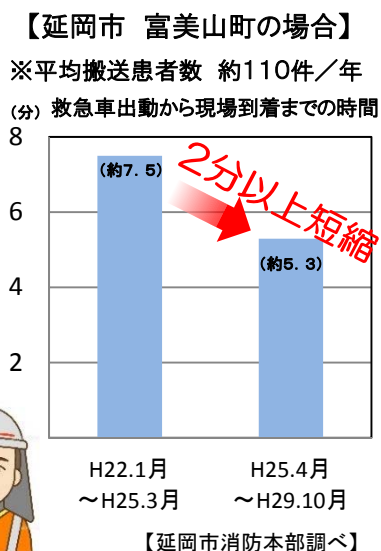


消火活動や救急搬送の時間短縮



消火活動への効果も大きい
～延岡市消防本部の声～

消火活動において初期消火を2分早く行えることは、火災延焼を押さえる上で非常に効果的。



交通混雑緩和にも寄与

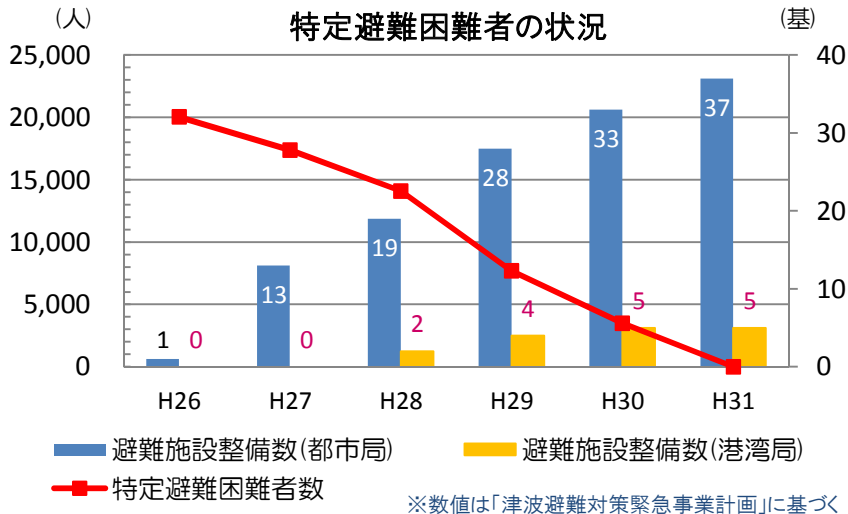


切迫する南海トラフ地震に対する『地域防災力の向上』

津波避難対策

特定避難困難者ゼロへ!!

宮崎県内の津波避難施設整備及び
特定避難困難者の状況



施設整備をきっかけに…



『避難タワー』



『複合型津波避難施設』



多彩な手法を活用し、
津波災害から
『住民の命』を守る!!



クルーズ船で賑わう油津港で『ストック効果の体験』

インフラツーリズム



地域の情報誌とタイアップ！

クルーズ船に乗り込んで中の様子を実体験！



船内は外国！
カジノも合法(^_^)



最上部には豪華なプール
が設置されている(^_^)

ツアー会社の方に船内を
案内して頂きました(^_^)



油津港から周辺観光地に出かける観光客
も増加！地域の経済活性化に貢献(^_^)



道路や港湾の整備により地域が活気付
いている様子が実感できました(^_^)



宮崎県におけるインフラのストック効果事例集 (vol. 4)

平成30年1月発行

宮崎県県土整備部